

編集後記

日本の医療費増大、特に高齢者医療費の増大は、少子高齢化の影響などにより深刻な課題となっています。国民皆保険制度の継続を脅かす一因にもなっている現在、限られた医療資源の効率的な活用が求められています。整形外科は高齢者の多くが抱える運動器疾患を対象に治療する診療科として、健康寿命延伸に貢献し介護費用の削減に寄与できる一方、治療における医療費抑制も意識しなければなりません。

この課題に対する解決策として、まず運動器疾患の予防や早期介入を促進する地域包括ケアの推進があります。整形外科医として地域住民の健康教育やロコモティブシンドロームの啓発・予防・改善に関わることで、運動器疾患の予防や改善が重症化を防ぎ、医療費抑制につながります。当科でも長年従事・継続している北海道八雲町の「Yakumo study」を通じて、このような前向きな疾患予防の取り組みに貢献したいと考えています。次に、運動器疾患の予防・改善を地域住民に啓発したあとは、在宅での運動習慣やリハビリテーションの継続を支援することも重要です。当科ではICTを活用した地域包括医療ケア確立の試みや、個人が自宅で使用し運動療法を継続できるデジタルケアプログラムの開発を行っています。

これらの解決策は今後の医療経済を考える上で必須と考えますが、実臨床では大変多くの患者さんが、整形外科を受診している現状があります。私たち整形外科医が毎日行う診療において、医療の効率化と質の向上を両立するとともに、医療経済についても意識しな

ければならない時代になっています。

そこで本号の特集は「医療経済からみた整形外科疾患」としていただきました。康永秀生先生ご企画のもと素晴らしい内容になっており、ご企画の康永先生をはじめ、貴重な論文をご執筆いただきました著者の先生方に感謝いたします。本特集の内容はまず医療サービスの経済評価・総論を解説いただき、続いて整形外科疾患各論として、関節リウマチに対する生物学的製剤、頸肩腕症状や慢性腰痛に対する薬物治療、成人脊柱変形に対する手術、手の外科領域における手術、骨粗鬆症性椎体骨折に対する椎体形成術、人工股関節全置換術患者の健康関連 QOL と費用対効果について、それぞれ詳細にわかりやすくご紹介いただいています。中には私自身が関わりました全国多施設研究なども含まれており、医療経済評価を含めた費用対効果研究は、大変な労力と時間を要することを実感してきました。本特集では、このように苦勞して完遂された整形外科分野に関する医療経済研究が薬物治療・手術治療ともに網羅され、読者の皆様にとっては短時間でまとめて理解できる素晴らしい内容になっています。本特集を参考に、医療の臨床的な効果に加え、それが費用に見合った効果があるのか、定量的に評価いただけるようになることを期待しています。そして本特集に掲載された医療経済研究や今後の新たな研究を通じて、費用対効果の大きい医療に相応の社会保険診療報酬が設定されていく必要性も感じています。

(今釜史郎)

「整形・災害外科」第68巻 第6号 (5月号) 2025年5月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 3,080 円 (本体 2,800 円+税 10%) 年間購読料金 定価 47,960 円 (本体 43,600 円+税 10%) [年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036
--	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。